



サーバ プロファイルの設定

- [サーバー プロファイル \(1 ページ\)](#)
- [UCS サーバ プロファイルの作成 \(13 ページ\)](#)
- [UCS サーバ プロファイルの詳細 \(15 ページ\)](#)

サーバー プロファイル

Cisco Intersight では、サーバ プロファイルによるリソース管理により、ポリシー適合とサーバ構成を合理化できます。サーバー プロファイル テーブル ビューを表示するには、**Service Selector** ドロップダウン リストから **[サービスとしてのインフラストラクチャ (Infrastructure Service)]** を選択します。[構成 (CONFIGURE)] > [プロファイル (Profiles)] に移動します。サーバ プロファイル ウィザードを使用してサーバ プロファイルを作成するか、C シリーズサーバの設定の詳細を Cisco IMC から直接インポートできます。サーバ プロファイル ウィザードを使用して、サーバをプロビジョニングするためのサーバ プロファイルを作成できます。また、サーバをスムーズに展開するためのポリシーを作成し、構成の不一致が原因で生じる障害を排除できます。[サーバ プロファイル (Server Profiles)] ウィザードは、サーバ ポリシーを次の4つのカテゴリにグループ化し、プロファイルに関連付けられているポリシーの概要ビューを迅速に提供します。

- **[コンピューティング ポリシー (Compute Policies)]** : BIOS、ブート順序、および仮想メディア。
- **[ネットワーク ポリシー (Network Policies)]** : アダプタ構成、iSCSI のブート、LAN 接続、SAN 接続のポリシー。
 - LAN 接続ポリシーでは、イーサネット ネットワーク ポリシー、イーサネット ネットワーク制御ポリシー、イーサネット ネットワーク グループ ポリシー、イーサネット アダプタ ポリシー、またはイーサネット QoS ポリシーを作成することができます。LAN 接続ポリシーをサーバ プロファイルに接続すると、MAC アドレスプールのアドレスまたは静的 MAC アドレスが自動的に割り当てられます。



(注) 静的 MAC アドレスを持つ LAN 接続ポリシーは、1 つのサーバ プロファイルにのみ接続できます。

- SAN 接続ポリシーではファイバチャネルネットワーク ポリシー、ファイバチャネル アダプタ ポリシー、またはファイバチャネル QoS ポリシーを作成する必要があります。SAN 接続ポリシーをサーバ プロファイルに接続すると、WWPN および WWNN プールのアドレス、または静的 WWPN および WWNN アドレスが自動的に割り当てられます。



(注) 静的 WWPN または静的 WWNN を持つ SAN 接続ポリシーは、1 つのサーバ プロファイルにのみ接続できます。

- [ストレージポリシー (Storage Policies)] : SD カードおよびストレージのポリシー
- [管理ポリシー (Management Policies)] : デバイス コネクタ、IPMI Over LAN、LDAP、ローカルユーザ、ネットワーク接続、SMTP、SNMP、SSH、Serial Over LAN、Syslog、NTP 証明書管理、および仮想 KVM ポリシー

ポリシーの詳細と説明については、「[サーバ ポリシー](#)」の項を参照してください。ポリシー作成ワークフローの例については、「[ネットワーク ポリシーの作成](#)」を参照してください。

サーバ プロファイル リスト ビュー

Intersight UI で [プロファイル (Profiles)] > [UCS サーバ プロファイル (UCS Server Profiles)] を選択すると、UCS サーバ プロファイル リスト ビューが表示されます。

リスト ビューには、次の詳細が表形式で表示されます。

- 名前 (Name) : サーバ プロファイルの名前
- ステータス (Status) : サーバ プロファイルの展開ステータス。

プロファイルの [ステータス (Status)] には、以下の値のいずれかが表示されます。

- 未割り当て (Not Assigned) : ポリシーはサーバ プロファイルに割り当てられていません。



- (注)
- サーバ プロファイルにポリシーを展開すると、結果に応じてステータスが [未割り当て (Not Assigned)] から新しいステータスに自動的に変更されます。場合によっては、更新されたステータスを確認するには、画面を更新する必要があります。
 - 各プロファイルの展開後に、電源の再投入/電源投入を行う必要があります。

- **OK** : ポリシーはサーバ プロファイルに正常に展開されています
- **進行中 (In Progress)** : サーバ プロファイルへのポリシーの展開が進行中です

- **失敗 (Failed)** : サーバプロファイルの検証、設定、または展開に失敗しました
- **不整合 (Inconsistent)** : ポリシー設定にまだ展開またはアクティブ化されていない変更があることを示します。エンドポイントのポリシー設定が、サーバープロファイルで最後に展開されたポリシー設定と同期していないことを示している場合もあります。サーバープロファイルの展開後にエンドポイントの設定を手動で変更すると、Intersight が設定の変更を自動的に検出し、サーバープロファイルに **[非整合 (Inconsistent)]** と表示されます。詳細については、「サーバープロファイルのばらつき」および「サーバープロファイルの展開とアクティブ化」の項を参照してください。
- **不整合の理由 (Inconsistency Reason)** : ステータスが **[不整合 (Inconsistent)]** として表示される理由。例: 展開されていない、アクティブ化されていない、同期していない
- **ターゲットプラットフォーム (Target Platform)** : プロファイルを適用できるプラットフォームがスタンドアロン UCS サーバーか、FI 接続 UCS サーバーかを示します。
- **UCS サーバーテンプレート (UCS Server Template)** : サーバープロファイルに添付されているテンプレート、またはプロファイルの派生元のテンプレート。
- **サーバー (Server)** : プロファイルが接続されているサーバーの名前。
- **リソース プール (Resource Pool)** : プロファイルが属するプール。
- **ユーザー ラベル (User Label)** : ユーザー ラベルは、サーバープロファイルのフィルタリングに役立つ識別子です。それは1～64文字の英数字で指定する必要があります。使用できる特殊文字は - _ . です。# \$ % & * + , () [] { } | / . ? @ _ : ; ~
- **最終更新日 (Last Update)** : プロファイルが最後に更新された日付。
- **組織 (Organization)** : 組織の名前。



(注) **ユーザー ラベル (User Label)** など、一部の列はデフォルトで無効になっています。このようなカラムをサーバープロファイルテーブルビューに表示するには、テーブルビューのカスタマイズ時にカラムを有効にする必要があります。

サーバー プロファイルのアクション

サーバー プロファイルを作成した後、サーバー プロファイルで実行できるアクションは次のとおりです。

- **展開 (Deploy)** : 接続されているサーバーにプロファイルを展開します。
- **アクティブ化 (Activate)** : 接続されているサーバーでプロファイルをアクティブ化します。アクティブ化時にサーバーの電源が再投入されます。
- **編集 (Edit)** : プロファイルの編集
- **クローン (Clone)** : プロファイルのクローン作成

- テンプレートにアタッチ (Attach to Template) : 使用可能なテンプレートのいずれかにサーバ プロファイルをアタッチします。



- (注)
- テンプレートの作成中に、**[USC サーバ プロファイルをプロファイル テンプレートにアタッチする (Attach UCS Server Profile to Profile Template)]** ボタンをオンにすると、選択したプロファイルが作成中のテンプレートにアタッチされます。
 - トグルボタンをオフのままにすると、選択したプロファイルのプロパティはテンプレートに適用されますが、プロファイルはテンプレートにアタッチされません。

- テンプレートの作成 (Create a Template) : サーバ プロファイルは、既存のテンプレートを作成するために使用できます。このテンプレートを使用して、同じ設定の複数のプロファイルを作成し、複数のサーバに展開できます。
- テンプレートから切り離す (Detach from Template) : テンプレートからプロファイルを切り離します。



- (注)
- **[テンプレートの作成 (Create a Template) および[テンプレートへの添付 (Attach to Template)]** アクションは、サーバ プロファイルがどのテンプレートにも添付されていない場合にのみ実行できます。
 - サーバ プロファイルは、既存のテンプレートに添付できます。この添付ファイルは、プロファイルの設定プロパティを上書きし、テンプレートプロパティに置き換えます。
 - テンプレートにアタッチしているサーバ プロファイル変更できません変更は、関連するテンプレートで行うことができます。
 - サーバ プロファイルは、要件に応じてテンプレートからデタッチし、変更できます。
 - 切り離されたサーバ プロファイルは、いつでもテンプレートに再アタッチできます。

- サーバの割り当て解除 (Unassign Server) : プロファイルからサーバの割り当てを解除します。

- ユーザー ラベルの設定 (Set User Label) : [ユーザー ラベルの設定 (Set User Label)] アクションを使用して、各サーバー プロファイルのユーザー ラベルを設定、更新、または削除することもできます。

サーバー プロファイル詳細ビュー

プロファイルをクリックすると、[一般 (General)]、[サーバー (Server)]、および [在庫 (Inventory)] タブの下で、[サーバー プロファイルの詳細ビュー (Server Profile Details View)] にリダイレクトされ、プロファイルにアタッチされたポリシーの設定の詳細が表示されます。

サーバ プロファイルの変動

サーバ プロファイルの変動は、エンドポイントでの構成が、サーバ プロファイルで最後に展開済みとされているポリシーと同期していない場合に生じます。

Cisco Intersight は、スタンドアロン サーバーおよび Intersight 管理モード サーバーのサーバー プロファイル変動の検出をサポートしています。Intersight マネージドモードサーバーの場合、変動の検出に必要なファームウェア バージョンは次のとおりです。

- 4.2 リリースの場合、Cisco IMC バージョンは 4.2(1b) 以降である必要があります。
- 4.1 リリースの場合、Cisco IMC バージョンは次のとおりである必要があります。
 - ラック サーバーの場合 - 4.1(3d) 以降
 - ブレード サーバーの場合 - 4.1(33e) 以降

エンドポイントで設定変更を検索するチェックは、30 分ごとに実行されます。

Intersight で現在展開されているポリシー設定に関連してエンドポイントで変更されたポリシー設定を確認するには、[サーバ プロファイルの詳細 (Server Profile details)] ビューに移動し、[変更の表示 (View Changes)] をクリックします。[変更のみ (Changes Only)] または [すべて (All)] のポリシー設定の詳細を表示するように選択できます。

[プロパティ (Property)]	[基本情報 (Essential Information)]
[保存された設定 (Saved Settings)]	Intersight のポリシー設定を表示します。
[最後に展開された設定 (Last Deployed Settings)]	サーバ プロファイルに展開された最新のポリシー設定を表示します。
[エンドポイント設定 (Endpoint Settings)]	エンドポイントでの設定を表示します。

サーバ プロファイルのステータスを [OK] に戻すには、プロファイルを再展開するか、エンドポイントで値を変更します。Intersight のデバイス コネクタ ポリシーを使用して、Cisco IMC で許可される設定変更を制御できます。デバイス コネクタ ポリシーで、[Intersight からのみ設定 (Configuration from Intersight only)] を選択すれば、Cisco IMC からの直接許可による設定変更を停止できます。

サーバー プロファイル変動の制限 - スタンドアロン サーバー

スタンドアロン サーバーの場合、エンドポイントでの設定変更は、特定の条件下の次のポリシーでは検出されません。

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
SD カード ポリシー	SD カードが取り外された場合。
ストレージ ポリシー	<ul style="list-style-type: none">• ポリシー内のいずれかの仮想ドライブに [展開可能 (Expand to Available)] が設定されている場合。• すべての導入後に電源の再投入が行われない場合。• Intersight から設定されていない追加のドライブグループがある場合

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
ブート順序ポリシー	<p>すべての導入後に電源の再投入が行われない場合。</p> <p>SAN ブート デバイスでは、Intersight はインターフェイス名とターゲット WWPNの変動を検出しません。</p> <p>(注) シスコでは、システム内でサーバプロファイルモビリティを提供する SAN ブートの使用を推奨しています。SAN からブートした場合、あるサーバから別のサーバにサーバプロファイルを移動すると、新しいサーバは、同じオペレーティングシステムイメージからブートします。したがって、ネットワークからは、新しいサーバは同じサーバと認識されます。</p> <p>SANブートを使用するには、次の項目が設定されていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• Cisco UCS ドメインが、オペレーティングシステムイメージをホストしている SAN ストレージデバイスと通信できること。• オペレーティングシステムイメージが置かれているデバイス上のブート ターゲット LUN (論理ユニット番号)。
ローカルユーザ、SNMP、LDAP、およびIPMI over LAN ポリシー	エンドポイントでパスワードが変更された場合。
仮想メディア ポリシー	エンドポイントでパスワード、マウントオプション、または認証プロトコルに変更がある場合。

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
BIOS ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 「platform-default」として設定された BIOS トークン値は、そのプラットフォームのデフォルト値に変更されます。このような BIOS トークンでは、変動検出は行われません。詳細については、「サポートされる UCS サーバー ポリシー」での BIOS ポリシーの項の表 16 を参照してください。 値が他の BIOS トークン値に依存する BIOS トークンは、ばらつきの検出に対して考慮されません。ポリシーが展開されているサーバーでサポートされていない値を持つ BIOS トークンについて、ばらつきが報告される場合があります。詳細については、「Cisco UCS サーバの BIOS トークン」を参照してください。
IPMI over LAN ポリシー	「権限レベル」フィールドは考慮されません。
ネットワーク接続ポリシー	ポリシーの [優先 IPv6 DNS サーバ (Preferred IPv6 DNS Server)] および [代替 IPv6 DNS サーバ (Alternate IPv6 DNS Server)] フィールドは考慮されません。サーバプロファイルが一時的に非同期状態に移行することがあります。
アダプタ設定ポリシー	このポリシーは、変動計算では考慮されません。

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
イーサネット アダプタ ポリシー	<p>usNIC または VMMQ に異なるイーサネットアダプタポリシーがある場合、usNIC または VMMQ に接続されたイーサネットアダプタポリシーの設定変更は計算されません。</p> <p>VMQ 設定の制限により、VMQ の割り込み数はイーサネットアダプタポリシーの割り込みの値をオーバーライドし、VMQ の仮想マシンキューの数は受信キューカウント、送信キューカウント、および完了キューカウント（受信+送信）の値をオーバーライドします。イーサネットアダプタポリシー割り込み数、仮想マシンキュー数、受信キューカウント、送信キューカウント、および完了キューカウントについては、検出されません。</p> <p>Intersight は、「割り込み数」、「仮想マシンキュー数」、「受信キューカウント」、「送信キューカウント」、および「完了キューカウント」の変動を検出しません。</p>
LAN 接続ポリシー	「CDN」フィールドは考慮されません。
IMC アクセスポリシー	インバンド IPv6 と IPv4 の両方の設定が使用可能な場合、IPv6 DNS 設定が優先されます。

サーバー プロファイル変動の制限 - Intersight 管理モード サーバー

Intersight 管理モードサーバーの場合、エンドポイントでのサーバー構成変更は、特定の条件下の次のポリシーでは検出されません。



- (注) 名前はエンドポイント設定ではないため、[名前 (Name)] フィールドはどのポリシーでもサポートされていません。



- (注) プールと ID の変動の検出はサポートされていません

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
SD カード ポリシー	SD カードが取り外されている場合、変動の検出はサポートされません。

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
ストレージポリシー、ブート順序ポリシー、BIOS ポリシー、仮想メディア ポリシー	変動の検出は、Intersight 管理対象モード サーバーのブート順序ポリシーではサポートされていません
ローカルユーザー ポリシー、SNMP ポリシー、証明書管理ポリシー	エンドポイントでパスワード、コミュニティ文字列、秘密キーなどのセキュリティ保護されたフィールドに変更がある場合、変動の検出はサポートされません。
LAN 接続ポリシー	<p>次に対して変動の検出はサポートされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMQ 接続 <ul style="list-style-type: none"> • 割り込みの数 • 仮想マシン キューの数 • Consistent Device Naming (CDN) • vNICの自動配置 ID • イーサネット アダプタ ポリシー <ul style="list-style-type: none"> • 割り込み設定 - 割り込み • 完了 - 完了キュー数、完了リング サイズ • VMMQ アダプタ ポリシー • usNICアダプタポリシー <p>(注) 変動の検出は、サーバーの電源が入っている場合にのみサポートされます</p>
IMC アクセスポリシー	アウトオブバンド構成では、変動検出はサポートされていません。
SAN 接続ポリシー	<p>自動 vNIC 配置 ID に対して変動検出はサポートされていません。</p> <p>(注) 変動の検出は、サーバーの電源が入っている場合にのみサポートされます</p>

[Policy (ポリシー)]	エンドポイントの設定
電源ポリシー	電源のプライオリティ (Power Priority) プロパティでは、ドリフト検出はサポートされていません。

サーバプロファイルのインポート

Intersight では、スタンドアロンモードの C シリーズサーバおよび Intersight 管理モード (IMM) の FI アタッチ サーバの構成の詳細を、Cisco IMC から直接インポートすることができます。サーバー プロファイルのインポートでは、プロファイルやポリシーを手動で作成する必要なく、サーバーの既存の構成を Intersight に移行できます。サーバプロファイルのインポート操作では、サーバ構成に基づき、プロファイルと関連付けられたポリシーが作成されます。ゴールデン構成プロファイルを作成してそのプロファイルを複製し、Intersight ですでに要求されている別のサーバに適用することができます。

サーバプロファイル構成は、Intersight の次の場所からインポートできます。

- **[サーバ (Servers)]** テーブル ビュー：テーブル ビューでスタンドアロン モードの Cisco UCS C シリーズ サーバまたは Intersight 管理モード (IMM) の FI アタッチ サーバを選択し、省略符号 ([...]) をクリックして、**[サーバプロファイルのインポート (Import Server Profile)]** を選択します。
- **[サーバの詳細 (Server details)]** ページにアクセスするには、[サーバ (Servers)] テーブル ビューで、スタンドアロン モードの C シリーズサーバまたは Intersight 管理モード (IMM) の FI アタッチ サーバをクリックします。右上隅の **[アクション (Actions)]** をクリックし、**[サーバプロファイルのインポート (Import Server Profile)]** を選択します。このオプションは、サーバに関連付けられたサーバプロファイルがない場合にのみ有効です。



(注) サーバプロファイルのインポートが部分的だと、テンプレートにアタッチすることも、テンプレートの作成に使用することもできません。

サーバプロファイル インポートのインポート方法、およびエンドポイントでの手動設定変更の検出の詳細については、「[サーバプロファイルのインポート](#)」(「[リソース](#)」)を参照してください。

影響の予測

スタンドアロンおよび Intersight Managed Mode サーバの Estimate Impact ワークフローは、サーバプロファイルが展開されたときに、サーバプロファイルにアタッチされたさまざまなポリシーによって引き起こされる中断を分析します。ポリシーがアタッチ、デタッチ、または更新されると、インパクト分析ワークフローがトリガされます。混乱は、各ポリシーに対して示されています。ポリシーによって引き起こされる可能性のある混乱は次のとおりです。

- 永続メモリ ポリシーやアダプタ ポリシーなどのスタンドアロン サーバ ポリシーでは、即時の再起動が必要です。このような場合、ポリシーに対して示される中断は**即時リブート**です。
- サーバプロファイルでのアクティブ化アクションでは、サーバを再起動して、サーバ上のポリシー構成をアクティブ化する必要があります。このような場合、ポリシーに対して示される中断は、**Activate Requires Reboot** です。
- IMC アクセス ポリシーなどの一部のポリシーでは、サーバ管理ネットワークが短時間停止します。このような場合、ポリシーに対して示される中断は、**ネットワーク管理の停止**です。

サーバ プロファイルの展開とアクティブ化

展開とアクティブ化は、サーバプロファイルで実行できる2つの明示的なアクションです。ポリシー構成のステージングは、サーバプロファイルの展開の一部として行われます。ポリシーのステージングにより、ポリシー構成をステージングし、ポリシーをアクティブ化するための保留中のアクションを把握できます。ポリシーをアクティブ化するには、サーバを手動で再起動するか、メンテナンス ウィンドウ中にサーバプロファイルの**アクティブ化**アクションを使用します。ポリシーのアクティブ化の失敗は、**アクティブ化**アクションがトリガされたときに識別されます。

サーバプロファイルテーブルビューの**ステータス** ウィジェットには、**不整合状態**のプロファイルの数が表示されます。サーバプロファイルにまだ展開またはアクティブ化されていないポリシー変更がある場合、サーバプロファイルは**不整合状態**になります。**不整合の理由**ウィジェットは、プロファイルが**不整合状態**にある理由を示します。サーバープロファイルは、次の理由で**不整合状態**になる可能性があります。

- サーバーに割り当てられたサーバプロファイルに添付されたポリシーに変更があります。
- ポリシー構成が、エンドポイントに展開された構成と同期していません。
- ポリシーは**アクティブ化**されていない状態です。

展開アクションを使用して、構成の変更をステージングできます。展開中に、トグルボタンを有効にして**すぐに再起動**するように選択できます。有効にすると、サーバが再起動し、サーバプロファイルがすぐにアクティブになります。無効にした場合、ポリシー構成の変更は次の再起動時に有効になります。

サーバプロファイルの詳細の**アクティブ化**アクションは、サーバを再起動し、サーバの構成をアクティブ化します。**展開**をトリガーして構成の変更をステージングし、後でメンテナンス ウィンドウ中に**アクティブ化**をトリガして、展開された構成をアクティブにすることができます。

ポリシー編集ページの**[更新および展開 (Update and Deploy)]** オプションを使用すると、ポリシー構成を変更し、ポリシーが添付されている複数のサーバプロファイルに変更を展開できます。

UCS サーバ プロファイルの作成

サーバプロファイルでは、1 台のサーバとそのサーバのストレージ、管理、およびネットワークの特性を定義します。サーバプロファイルがサーバに展開されると、Cisco Intersight が、そのサーバプロファイルで指定された設定に一致するように、サーバとその接続を自動的に設定します。



(注) サーバプロファイルは、サーバプロファイルテンプレートから取得することもできます。詳細は、[サーバプロファイルテンプレート](#)を参照してください。

- ステップ 1** Cisco ID で Cisco Intersight にログインし、管理者ロールを選択します。
- ステップ 2** [サービス プロファイル (Service Profiles)] > [CS サーバ プロファイル CS Server Profiles] タブに移動し、[UCS サーバ プロファイルの作成 (Create UCS Server Profile)] をクリックします。
- ステップ 3** [全般 (General)] ページで、以下の情報を設定します。
- a) [名前 (Name)] : サーバプロファイルの名前です。
 - b) [ターゲット プラットフォーム (Target Platform)] : ポリシーが適用されるターゲット プラットフォームです。これは、[スタンドアロン (Standalone)] サーバまたは [FI 接続サーバ (FI Attached)] サーバのいずれかです。

スタンドアロン サーバ用に作成された UCS サーバプロファイルは、FI 接続サーバに展開できません。同様に、FI 接続サーバ用に作成された UCS サーバプロファイルをスタンドアロン サーバに展開することはできません。
 - c) (任意) [タグ (Tag)] : プロファイルのタグです。タグは key : value 形式である必要があります。たとえば、Org: IT または Site: APJ などです。
 - d) (任意) [説明 (Description)] : プロファイルの識別に役立つ説明です。
- ステップ 4** [サーバー割り当て (Server Assignment)] ページで、サーバープロファイルにサーバーを割り当てます。サーバーの割り当てには、次のオプションのいずれかを選択できます。
- [特定のサーバからの割り当て (Assign from a Specific Server)] : このオプションを使用して、直ちにサーバをサーバプロファイルに割り当てます
 - [リソース プールからのサーバーの割り当て (Assign Server from a Resource Pool)] : このオプションを使用して、リソース プールからサーバーをサーバー プロファイルに割り当てます。
 - [シャーシスロットの場所による割り当て (Assign by Chassis Slot Location)] : このオプションを使用して、ドメイン名、シャーシ ID、およびスロット ID を使用してサーバをサーバプロファイルに事前に割り当てます。
 - [シリアル番号による割り当て (Assign by Serial Number)] : このオプションを使用して、サーバのシリアル番号を使用してサーバをサーバプロファイルに事前に割り当てます。

- (注)
- Cisco UCS B シリーズ サーバは、**シャーシ スロットの場所**または**シリアル番号**を使用して事前に割り当てることができます。
 - Cisco Intersight 管理モード C シリーズ サーバおよび Cisco UCS C シリーズ スタンドアロン サーバは、**シリアル番号**を使用してのみ事前に割り当てることができます。

- **[後で割り当て (Assign Later)]** : このオプションを使用して、後でサーバーをサーバー プロファイルに割り当てます。

サーバー割り当てテーブルには、サーバーまたはリソース プールのリストとその詳細が表示されます。次のいずれかのオプションを使用して、詳細を表示できます。

- **[すべてを表示 (Show All)]** : 現在存在するすべてのサーバーまたはリソース プールを表示します。
- **[選択を表示 (Show Selected)]** : 選択されている現在のサーバーまたはリソース プールを表示します。
- **[選択を解除 (Unselect)]** : 選択を解除します。

ステップ 5 [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 6 [コンピューティング構成 (Compute Configuration)] ページで、以下を実行します。

- 適切な**[UUID 割り当て (UUID Assignment)]**を選択します。
 - **[プール (Pool)]** : サーバーへの UUID プールの関連付けを許可します。
 - **[静的 (Static)]** : 静的 UUID アドレスを使用したサーバーへの UUID の関連付けを許可します。
- 既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成します。
- [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 7 [管理 (Management)] ページで、**[UCS サーバ プロファイル (UCS Server Profile)]**に必要なポリシーをアタッチし、**[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 8 [ストレージ (Storage)] ページで、必要なポリシーを**[UCS サーバ プロファイル (UCS Server Profile)]**にアタッチし、**[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 9 [ネットワーク設定 (Network Configuration)] ページで、必要なポリシーを**[UCS サーバ プロファイル (UCS Server Profile)]**にアタッチし、**[次へ (Next)]** をクリックします。

ステップ 10 [概要 (Summary)] ページで、UCS サーバプロファイルとそれに関連付けられているポリシーの詳細を確認します。

ステップ 11 **[展開 (Deploy)]** をクリックして UCS サーバプロファイルを作成し、割り当てられたサーバに展開します。

- (注)
- **[リソース プールからサーバーを割り当て (Assign Server from a Resource Pool)]** 割り当てタイプの場合に、リソースがリソースプールで使用できないと、サーバープロファイルのステータスは **[リソース プールからサーバーを割り当て (Waiting for Resources)]** に変わります。同様の動作は、サーバプロファイルの事前割り当てにも見られます。後でサーバーがリソース プールに追加されると、サーバーは **[リソースを待機中 (Waiting for Resources)]** ステータスのものからサーバープロファイルに自動的に追加されます。
サーバプロファイルが待機状態になると、**アラーム**が発生します。サーバがサーバプロファイルに割り当てられると、自動的にクリアされます。
 - リソース プールは、サーバーの動的選択をサポートしていません。サーバーをリソース プールに手動で割り当て、自動化されたサーバー プロファイルの割り当てを続行できます。
 - サーバプロファイルの事前割り当ては、サーバが割り当てられるまでの 1 回限りの操作です。サーバが割り当てられると、事前に割り当てられたプロパティは失われ、他の既存のサーバプロファイルとして機能し続けます。
 - リソース プールの作成とリソース プールの詳細の表示の詳細については、「[リソース プール](#)」を参照してください。
 - UUID プールの作成と UUID プールの詳細の表示の詳細については、「[UUID プール](#)」を参照してください。

UCS サーバ プロファイルの詳細

[UCS サーバプロファイルの詳細 (UCS Server Profile Details)] ページには、UCS サーバプロファイルとその割り当て先のサーバの詳細が表示されます。[UCS Server Profiles Table] ビューから [UCS Server Details] に移動します。このページでは、次の作業を行うことができます。

- UCS サーバプロファイル **アクション**を実行します。
 - **[展開 (Deploy)]** : ファブリック インターコネクト ペアに UCS サーバプロファイルを展開します。



(注) このアクションは、サーバが割り当てられているサーバプロファイルで実行できます。

- **[割当解除 (Unassign)]** : ファブリック インターコネクト ペアから UCS サーバプロファイルの割り当てを解除します。



(注) このアクションは、サーバが割り当てられているサーバプロファイルで実行できます。

- **[編集 (Edit)]** : UCS サーバ プロファイルのプロパティを編集します。
- **[複製 (Clone)]** : 既存の UCS サーバ プロファイルと同様のプロパティを使用して UCS サーバ プロファイルを複製します。クローンは、元の UCS サーバ プロファイルと同じポリシーに関連付けられます。
- **[Delete (削除)]** —Delete the server profile.
- **[Attach to template (テンプレートに接続)]** : 既存のサーバ プロファイルテンプレートにサーバ プロファイルを接続します。



(注) このアクションは、どのテンプレートにもアタッチされていないサーバ プロファイルで実行できます。

- **[テンプレートの作成 (Create a template)]** : サーバ プロファイルのプロパティを使用して新しいテンプレートを作成します。



(注) このアクションは、どのテンプレートにもアタッチされていないサーバ プロファイルで実行できます。

- **[テンプレートから分離 (Detach from template)]** : サーバ プロファイルをテンプレートから分離し、そのプロパティを変更します。



(注) このアクションは、サーバ プロファイルテンプレートにアタッチされているサーバ プロファイルで実行できます。

- **[タグの管理 (Manage Tags)]** : key : value 形式でプロファイルのタグを設定します。
- UCS サーバ プロファイルの **[Details (詳細)]** は、**[全般 (General)]** タブでを表示します。

[プロパティ (Property)]	[基本情報 (Essential Information)]
ステータス (Status)	ファブリック インターコネクトペアでの UCS サーバプロファイルの展開のステータス。次のようになります。 <ul style="list-style-type: none">• OK• 失敗 (Failed)• [未割り当て (Not Assigned)]• 未展開 (Not Deployed)
名前 (Name)	UCS サーバプロファイル名。
サーバ (Server)	関連付けられているサーバの名前。
[最終更新 (Last Update)]	UCS サーバプロファイルが最後に更新された日時。
タグ (Tags)	選択したオブジェクトの既存のタグがデフォルトで表示されます。[管理 (Manage)] をクリックして、新しいタグを追加するか、既存のタグを変更します。

サーバプロファイルに関連付けられているポリシーを表示します。関連付けられたポリシーの詳細を表示するには、ポリシー名をクリックします。

サーバプロファイルに関連付けられているポリシーを展開した後にそのポリシーを変更したり、または新しいポリシーをプロファイルに追加した場合は、[サーバプロファイル (Server Profile)] テーブル ビューにプロファイルへの編集内容または参照先のポリシーを反映した未展開の変更が表示されます。[サーバプロファイルの詳細 (Server Profile Detail)] ビューには参照先のポリシーが強調表示され、[変更の表示 (View Changes)] ウィンドウには実際の変更を表示することができます。[サービスプロファイル (Service Profiles)] テーブルビューから設定の詳細を表示することもできます。

- [サーバ (Server)] タブで、割り当てられたサーバとそのプロパティを表示します。
- [インベントリ (Inventory)] タブで、割り当てられたサーバのインベントリを表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。